

グリーンポリフィルム使用による新梢挿木桑苗生産法

(蚕試 栽桑部)

1 背景とねらい

多収性優良桑新品種による密植桑園の導入が推進され、優良桑苗の需要が増大している。しかし、新品種の桑苗生産量は少なく、価格の高騰と入手困難を来し、優良な自家桑苗生産の必要性が高まっている。

桑苗の簡易生産法である新梢挿木法は、春の発芽時期の遅い東北地方では、挿木後の生育期間が短いため大・中苗の割合が低く、遮光作業に多くの労力を必要とすることなどの難点がある。

そこで、新梢挿木法における育苗の効率化と遮光作業の省力化を図るためにグリーンフィルム使用による新梢挿木法について検討したので参考に供する。

2 技術内容

- 1) 新梢挿木の方法 (1) 苗圃は肥沃で保水力が高く、排水の良い、日照良好な水利の良い場所を選び、挿床造成前に1a当たり完熟堆肥150kg・過磷酸石灰6kgを全面に施し土壌混和する。(2) 挿床は床面幅40cm、高さ5~10cmのカマボコ状に作り、十分に灌水し土壌処理型除草剤(トリアザイドは挿込み前、シマゾン)は挿込み後)を全面に散布する。(3) 挿穂は脱苞後35~45日(9~10開葉時)に採取し、着葉4~5枚の長さで切り、上部2枚残し下部葉切除調製後にオキシペロン4倍液に3秒間基部を浸し発根処理を行なう。(4) 挿込みは25cm×25cmの二列に5~8cmの深さで千鳥挿しとし、被覆は180cmの支柱の両端を40~60cm間隔でトンネル状に挿し、幅180cm厚さ0.02mmのグリーンフィルムで行なう。(5) フィルムの除去は挿木後30~35日に発根を確認してから徐々に行ない、以後の管理は古条マルチング挿木法に準ずる。
- 2) この方法は、ヨシズなどによる日覆の設置や遮光作業が不要である。
- 3) 従来の方法に比較し活着が良く、生育も速まり成苗率が高い。
- 4) 適応地域は県内全域である。

3 指導上の留意事項

- 1) 穂木の萎凋防止に努め、挿込み作業は曇天又は夕方に被覆まで行なう。
- 2) マルチフィルムの損傷はトンネル内の湿度低下による高温障害を生じるので避ける。
- 3) モグラの生息する圃場では挿床への侵入防止対策を講じる。

4 試験成績の概要

表1 普通桑園からの採取穂木による育苗状況（あおばねずみ）

区	場 所	挿し木数	活着率	成苗率	枝条長	着菜数
グリーンフィルム (日覆なし)	蚕 試	40 本	97.5%	55.0%	60.2%	21.1本
	現 地	104	99.0	94.2	102.7	—
慣行(透明フィルム+日覆)	蚕 試	40	95.0	12.5	37.8	15.3

表2 密植桑園からの採取穂木による育苗状況 (蚕試構内圃場)

区	桑 品 種	挿し木数	活着率	成苗率	枝条長	着菜数
グリーン フィルム	みつしげり	40 本	92.5%	67.5%	68.2%	22.3本
	しんけんもち	40	100.0	57.5	60.2	20.2
慣 行	みつしげり	40	80.0	5.0	35.4	12.3
	しんけんもち	40	85.0	15.0	41.7	15.5

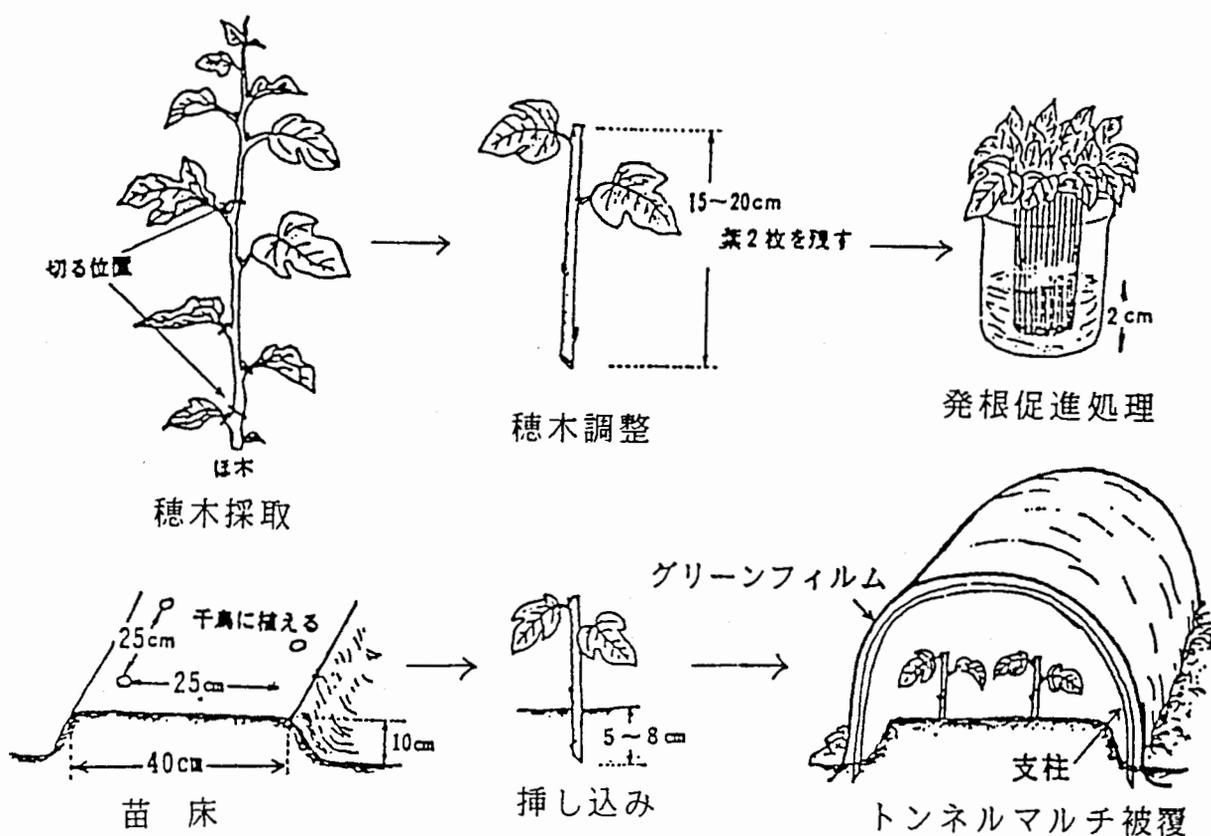


図1 グリーンポリフィルム使用による新梢挿木方法